

平成 26 年 11 月 12 日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第9回「シビアアクシデント評価」研究専門委員会
開催日時	平成 26 年 11 月 11 日(火) 10:00~12:00
開催場所	三菱総合研究所 4階 CR-D会議室
参加人数	委員 9 名 (大川幹事, 中島幹事, 吉田幹事, 山野幹事, 森委員, 日高委員(日立), 岡田委員, 末廣委員, 湊委員), 委員代理出席 2 名
議 事	<p>1. PIRT-SWG 進捗報告 進捗報告なし。</p> <p>2. SAMPSON-SWG 進捗報告 前回委員会以降の進捗について報告され、議論された。 ・格納容器内 MCCI 時の上部クラストへの注水による冷却挙動に関する解析モデルの開発 ・MCCI 試験解析の状況 ・デブリ広がり挙動に関する水を用いた実験の状況 ・デブリ広がり挙動に関する液体金属を用いた実験の状況</p> <p>3. SAMPSON 今後の体制 本委員会が終了に伴い SAMPSON コード貸与契約が完了することから、長期的にコード利用を促すため、エネ総工研の中にユーザー会を発足することを提案があった。 ・提案書については引き続き検討が必要であり、特に、会費及び知財等について、十分に検討していくことになった。 ・12 月から 2015 年 3 月までの当面の使用許諾について、エネ総工研にて至急、対処方法を検討することになった。</p> <p>4. 報告書ドラフト 委員会報告書ドラフトの報告があった。 ・報告書に関するコメント及び付録の論文リストに対する追記修正については、委員は 11/20 までにレビューして幹事に連絡することになった。 ・幹事はコメントを反映して報告書ドラフトを仕上げ、12 月初旬には原子力学会ホームページに掲載できるように、作業を進めることになった。</p> <p>5. その他 ・本委員会は 11 月末で終了すると報告された。</p>
備 考	

平成 26 年 6 月 12 日

## 専門委員会開催報告

専門委員会名	第8回「シビアアクシデント評価」研究専門委員会
開催日時	平成 26 年 6 月 12 日(木) 14:00~16:00
開催場所	東京大学 工学部 8 号館 226 会議室
参加人数	委員 17 名 (岡本主査, 大川幹事, 中島幹事, 吉田幹事, 山野幹事, 杉本委員, 奈良林委員, 日高委員(JAEA), 日高委員(日立), 笠原委員, 西委員, 岡田委員, 山本委員, 末廣委員, 湊委員, 高瀬委員, 溝上委員), 委員代理出席 1 名, 説明者 1 名, オブザーバ 1 名
議 事	<p>1. PIRT-SWG 進捗報告</p> <p>H25 年度作業報告と H26 年度改訂作業計画について報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・H25 年度に MAAP 感度解析に基づき、PIRT ランキングの見直しを行った。</li><li>・H25 年度 PIRT 資料について委員各自で確認して、PIRT 作成者にコメントすることになった。</li><li>・コメントを踏まえて、次回会合までに委員会報告書ドラフトを作成することになった。</li><li>・本委員会は 11 月までの実施となることから、H26 年度作業については有志でレビューすることになった。</li></ul> <p>2. SAMPSON-SWG 進捗報告</p> <p>前回委員会以降の進捗について報告された。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・格納容器内 MCCI 時の上部クラストへの注水による冷却挙動に関する解析モデルの開発</li><li>・MCCI 解析の状況</li></ul> <p>3. SAMPSON 今後の体制</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・本委員会が終了に伴い SAMPSON コード貸与契約が完了することから、長期的にコード利用を促すため、エネ総工研の中にユーザー会のような組織体を作っていく方針とすることになった。</li><li>・次回会合で契約更新手続きができるように検討を行うことになった。</li></ul> <p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・委員会報告書は中間報告書をアップデートすることとし、次回会合に報告書ドラフトを用意することになった。</li><li>・次回は 10 月頃(後日、日程調整)に予定。</li></ul>
備 考	